

## 令和5年度第1回大野城市国民健康保険運営協議会（議事録）

1. 日 時 令和5年8月31日（木） 午後2時00分～午後3時30分

2. 場 所 大野城市役所 本館4階 全員協議会室

3. 出席者等

（1）委員5名（欠席委員5名）

（2）国保年金課職員（事務局）

4. 次 第

（1）議事録署名委員の指名

会長より久野委員が指名された。

（2）議 事

### 国民健康保険制度の概要について

事務局から配布資料に基づき順に説明

（医療費負担の仕組み、令和5年度の国民健康保険税、被保険者の状況）

#### 主な質疑等

委 員 退職者医療制度について説明を。

事務局 一定期間会社の健康保険に加入し、退職後に国民健康保険に加入した人の医療費を社会保険等が一部負担する制度。平成26年度で制度終了し、当時の対象者で現在も国民健康保険被保険者である方はいないので、0名となっている。

### 令和5年度の制度改正について

事務局から配布資料に基づき順に説明

（税率改定、税制改正、出産育児一時金の増額改定）

#### 主な質疑等

委 員 出産育児一時金の増額の根拠は。

事務局 国の基準によるものである。

委 員 国保税を上限額まで納付し、医療費は全然かかっていない人もいる。可能な限り負担感が公平となる制度であるよう、我々も注視し、必要に応じて国や県に意見もしていきたい。

事務局 市民の方から国保税は高いというご意見もいただくが、実際には一般会計からの赤字補填を行っている。税率改定とその前提と

なる医療費削減については運営協議会でまさにご協議いただきたいテーマであると考えている。

委員 医療費削減も全市的にテーマを絞り込んで取り組んでほしい。

## 令和4年度決算（案）の概要について

### 事務局から配布資料に基づき順に説明

（令和4年度の決算（案）内容、決算の推移、国民健康保険税、保険給付費の推移、医療費の推移、一般会計繰入金、繰入金決算額の推移）

### 主な質疑等

委員 滞納繰越の徴収率が低い。過年度分について徴収が難しいことは理解できる。また、現年度分も徴収率は以前より高く、職員の頑張りは見えている。それでも今一層の工夫をお願いしたい。

委員 国民健康保険に関しての出前講座等多くの人に現状を理解してもらうことも大事だと考える。

事務局 出前講座のメニューは設けているが利用はほとんどない状況である。しっかりとPRをしていきたい。

委員 本市国保の医療費水準は低いのか。要因は。

事務局 近隣では本市より低いところもあるが、県内では低い方である。年齢構成の関係もあるし、もちろん被保険者の皆様が比較的健康であるとも考えている。

委員 赤字補填に向けて、税率改定や、一丸となった取り組みを進めるしかないと考える。被保険者本人にとっても健康が一番である。

以前から国保財政の健全化は課題となっていた。これまで本市は国保税が極端に低かったので、昨年から標準税率に近づけながら改定を行っている。それと併せて、今一層のやり方で、「医療費の適正化」と「徴収率の向上」を行ってほしい。運営協議会としても一緒に検討していきたい。

## （３）その他

事務連絡